

Vol.2

第3回 学校運営協議会

第3回学校運営協議会（令和6年12月3日開催）の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

令和七年 二月



第3回学校運営協議会では、学校からの後期前半活動における子ども達の様子や学校の取組、創立150周年記念行事についての説明の後、学校と委員で子ども達の様子についての意見交換を行いました。

後期前半での活動について

運動会（雨天延期により10月23日実施）や、ぬくもり文化祭（10月26日、27日実施）、校外活動など、各活動での子ども達の頑張りや成果についての報告がありました。

運動会では、赤白の2グループに分かれ、熱中症対策に注意しながらの練習の中、6年生の応援団が各学年をまわり、動画で応援の仕方を丁寧に教える姿がみられ、その頑張りのおかげで各グループの団結力が高まり、どの学年も思い出に残るものになったと感じました。

ぬくもり文化祭では、5年生の親子レクとして、青少年育成指導員会のみなさんをはじめ、PTA役員、保護者の協力のもと、もちまき用のもちをつき、文化祭へ参加する楽しさが体験できたようでした。

また、校外活動などでは、学校外での活動でいろいろな学習や体験ができ、前原校区への親しみが深まったようでした。

令和6年度前半の様子意見交換

◆学校より

- ・前小スタンダードとして、教師経験者による赤ペン先生を実施し、子どもたちに関わる大人が増えたことで「わからないところ」「苦手なところ」を丁寧に指導してもらっている。
- ・近年糸島においても教師不足が進み、各教師の負担が大きくなっている。就業時間外や休日に発生した問題などにも対応している状況である。

◆地域より

- ・登下校時など、大きな声で気持ちの良い挨拶をする子どもたちが増えている。
- ・来年度に向けて、PTAのあり方や学校に必要とされるPTA活動や、学校と地域のよりよい関わり方を考えていく。

それぞれの意見をふまえ、学校・家庭・地域が助け合い、協力し、子ども達の過ごしやすい環境を整えていくことが必要だと感じました。先生達が子ども達としっかり向き合えるよう、学校任せにせず、地域での問題は地域や家庭でも対応できるようにしていくことが、これからの課題だと感じました。地域の子もは地域で育てる・・・地域にはなにができるのか、どのような関わりが良いのかを今後も学校とともに考え実践すべく取り組んでまいります。